

## 前回定例会（平成 26 年 4 月 9 日）以降の行政の動き

平成 26 年 5 月 14 日  
新潟県防災局原子力安全対策課

### 1. 安全協定に基づく状況確認

4 月 11 日及び 5 月 12 日、柏崎市、刈羽村とともに、月例の状況確認を実施しました。  
〔主な確認内容〕

- |                                  |      |
|----------------------------------|------|
| ・ 7 号機 フィルタベント装置（装置本体及び配管の設置状況）  | 現場確認 |
| ・ 固体廃棄物処理建屋 検査装置制御盤（吊り上げ装置の基板短絡） | 現場確認 |
| ・ 使用済燃料輸送容器保管建屋                  | 現場確認 |
| ・ 地質調査準備場所（立坑掘削現場）               | 現場確認 |

### 2. 安全管理に関する技術委員会

(1) 福島第一原子力発電所事故の検証～平成 25 年度の議論の状況～

平成 25 年度の議論の状況について、4 月 10 日に中島健座長が知事に報告しました。

(2) 福島事故検証課題別ディスカッション

福島事故検証課題別ディスカッションを開催しました。各課題の開催状況は以下のとおりです。

福島事故検証課題別ディスカッション開催状況

課 題	開催実績		
	第 1 回	第 2 回	第 3 回
地震動による重要機器の影響	H25. 11. 07	H26. 1. 14	<u>H26. 4. 28</u>
海水注入等の重大事項の意思決定	H25. 11. 19	H26. 1. 31	
東京電力の事故対応マネジメント	H25. 11. 14	H26. 2. 4	<u>H26. 4. 26</u>
メルトダウン等の情報発信の在り方	H25. 11. 14	H26. 2. 4	<u>H26. 4. 26</u>
高線量下の作業	H25. 11. 30	H26. 1. 18	<u>H26. 5. 8</u>
シビアアクシデント対策	H25. 10. 31	H26. 1. 25	

議論の概要は、事務局で取りまとめたのち公開しています。当日の資料等、詳細につきましては、以下の原子力安全対策課のホームページからご覧になれます。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1356771524701.html>

### 3. 安定ヨウ素剤の未調達及び更新遅延

安定ヨウ素剤の配備について、不適切な事務処理により未調達及び更新遅延がありました。

これまで安定ヨウ素剤の調達に取り組み、現在はこのたびの問題の発生前に予定していた配備水準を確保したところです。

### 4. 東京電力(株)から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました

県が東京電力(株)に請求している福島原発事故に伴う損害賠償額について、一部支払いを受けました。残りの請求額については、協議を継続中です。

- ・ 4 月 25 日受領 15,754,182 円（平成 22, 23 年度発生経費（一般会計）請求額の一部）

## 5. その他

- 4月22日：報道発表 [安定ヨウ素剤の配備について、不適切な事務処理により、未調達及び更新遅延がありました。] 別紙参照
- 4月22日：報道発表 [安定ヨウ素剤の不適切な処理に対する知事コメント] 別紙参照
- 4月23日：報道発表 [安定ヨウ素剤未調達等の不適正な事務処理に係る調査を行います。] 別紙参照
- 4月24日：報道発表 [安定ヨウ素剤の未調達等に関して、全市町村へお詫びと当面の対応について通知しました。] 別紙参照
- 4月24日：報道発表 [明日、安定ヨウ素剤の更新（入れ替え）を行います。] 別紙参照
- 4月25日：報道発表 [東京電力（株）から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました。] 別紙参照
- 4月28日：報道発表 [安定ヨウ素剤について、当面必要となる配備水準を確保できる見込みとなりました。] 別紙参照
- 5月5日：報道発表 [本日5時18分頃に発生した地震により柏崎刈羽原子力発電所に異常は確認されていません。] 別紙参照
- 5月8日：報道発表 [安定ヨウ素剤未調達事案調査に関する中間報告がまとまりました。] 別紙参照（概要版）

安定ヨウ素剤の配備について、不適切な事務処理により、未調達及び更新遅延がありました。

安定ヨウ素剤の配備について、不適切な事務処理により、整備済みとしていたUPZ内分の安定ヨウ素剤約130万錠の未調達及び10km圏内分の約14万錠分の更新遅延があったことが判明しました。

今後、詳細な調査を行い、必要な対応を行います。

## 記

### 1 事実の概要

#### (1) 30km圏内の安定ヨウ素剤の未調達

平成24年度に購入し、旧巻興農館高校に集中配備していたと整理していた1,326,000錠について、実際には購入されていませんでした。

#### (2) 10km圏内の安定ヨウ素剤の更新遅延

柏崎市役所等に分散配備している安定ヨウ素剤168,000錠のうち、140,000錠が平成26年3月に期限切れとなるにもかかわらず、更新分が購入されていませんでした。

### 2 今後の対応

- 未調達及び期限切れの安定ヨウ素剤について、速やかに調達を進めます。
- 事実関係について、今後、詳細な調査を行い、必要な対応を行います。

本件についてのお問い合わせ先  
医務薬事課 [担当] 課長 水沢  
(直通)025-280-5782 (内線)2540

安定ヨウ素剤の不適切な処理に対する知事コメント

安定ヨウ素剤の配備について、不適切な事務処理により、未調達及び更新遅延があったとの報告を受けたところです。

このような事案が発生したことは誠に遺憾であり、深くおわびします。事実関係を確認し、必要な対応を行ってまいります。

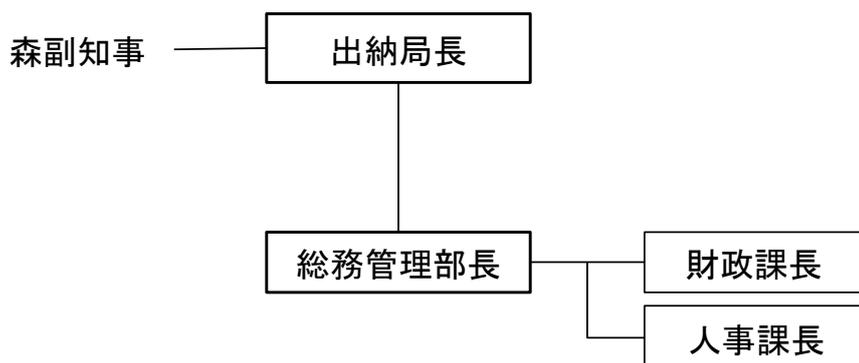
本件についてのお問い合わせ先  
医務薬事課 課長 水沢泰正  
(直通)025-280-5782 (内線)2540

**安定ヨウ素剤未調達等の不適正な事務処理に係る調査を行います。**

今回明らかとなった、福祉保健部における安定ヨウ素剤の未調達及び更新遅延について、以下の調査体制により、事実関係及び原因等について調査を行うこととしましたのでお知らせします。

記

1 調査体制



2 主な調査内容

- ① 歳入・歳出予算の執行状況
- ② 国交付金の申請・報告状況
- ③ 事務処理体制の状況（事務決裁処理、管理監督体制等を含む）
- ④ 課題・問題点の抽出・評価
- ⑤ 再発防止の方向性

3 調査期間

大型連休明けを目途とする。

本件についてのお問い合わせ先

- 会計事務に関すること 出納局管理課長 三浦  
(直通) 025-280-5481 (内線) 3480
- 上記以外に関すること 総務管理部人事課長 釘持  
(直通) 025-280-5022 (内線) 2140



平成26年4月24日  
防災局原子力安全対策課  
福祉保健部医務薬事課

安定ヨウ素剤の未調達等に関して、全市町村へお詫びと当面の対応について通知しました。

安定ヨウ素剤の未調達等に関して、市町村へお詫びと当面の対応について通知しましたのでお知らせします。（別紙のとおり）

本件についてのお問い合わせ先  
医務薬事課 課長 水沢 泰正  
(直通)025-280-5182 (内線)2540

医 第 336 号  
原 安 第 28 号  
平成26年 4 月24日

市 町 村 長 様

新潟県危機管理監

### 安定ヨウ素剤の未調達等について

このたび、不適切な事務処理により、安定ヨウ素剤の未調達及び更新遅延があったことをご迷惑をおかけし、深くおわび申し上げます。

不足することとなった安定ヨウ素剤の調達については、最優先で取り組んでおり、用意できたものから順次、配備をしていくこととしております。

また、今回の事案に関し、昨日、県庁内に副知事を長とする体制を整備し、大型連休明けを目途に、事実関係及び原因等について、速やかに調査を実施することとしました。

今後、県民の皆様の安全の確保に向けて、全力で対応を行うとともに、適切な事務の執行に努めてまいります。

明日、安定ヨウ素剤の更新（入れ替え）を行います。

更新遅延となっていた14万錠について、明日、4月25日（金）に更新（入れ替え）を行います。

《入替作業の予定時間、搬入場所、更新数量》

10時	柏崎市役所	80,000錠
10時30分	柏崎地域振興局健康福祉部	56,000錠
11時	刈羽村役場	4,000錠

※当日は医務薬事課の職員が入替作業を行います。

《参考》

30km圏内の未調達分の調達

- 未調達となっていた1,326,000錠のうち、500,000錠について、5月2日（金）までに配備できる見通しがつきました。
- 残りの826,000錠についても、早急に調達を行います。

本件についてのお問い合わせ先  
医務薬事課 課長 水沢泰正  
(直通)025-280-5782 (内線)2540

## 東京電力(株)から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました

本日、県が東京電力(株)に請求している福島原発事故に伴う損害賠償額について、一部支払いを受けましたのでお知らせします。残りの請求額については、協議を継続中です。

### 1 今回の受領額

15,754,182円 (平成26年4月25日受領)

※平成22,23年度発生経費(一般会計)請求額の一部

### 2 受領額の内容

妙法育成牧場での代替飼料、放射能測定経費(河川水検査)等の一部

### 3 その他

#### (1) 請求及び受領の状況

(単位:円)

発生年度	請求日	区分	請求額	今回受領額	受領額累計	備考
H22・23	①H24. 12. 26 ②H25. 3. 29	一般会計	364,724,834	15,754,182	162,506,860	(3)のとおり請求額 変更予定
	①H24. 12. 26 ②H25. 3. 29	工業用水道	391,587,383	-	382,814,716	
	H24. 12. 26	流域下水道	5,073,703	-	5,073,703	
		小計	761,385,920	15,754,182	550,395,279	
H24	H25. 12. 23	一般会計	266,994,364	-	-	
	H25. 10. 24	工業用水道	580,922,144	-	579,960,603	
	H25. 10. 24	流域下水道	1,139,775	-	1,139,775	
		小計	849,056,283	-	581,100,378	
		合 計	1,610,442,203	15,754,182	1,131,495,657	

(2) 今後費用の発生等が確認できたものについて順次請求します。

(3) 平成22・23年度発生経費(平成25年3月29日請求・一般会計分)について、東京電力(株)との協議において、人件費(時間外勤務手当分)の一部に重複を確認したため、請求額を364,724,834円から、3,682円減額し、364,721,152円とします。

本件についてのお問い合わせ先  
放射能対策課 企画調整係長 石川  
(内線) 6462 (直通) 025-282-1698

安定ヨウ素剤について、当面必要となる配備水準を確保できる見込みとなりました。

去る4月25日、即時避難区域（PAZ）内で必要な安定ヨウ素剤を確保いたしました。

また、本日、新たな調達を行うことで、避難準備区域（UPZ）内の40歳未満の方々の必要量を超える安定ヨウ素剤の配備が整いました。

加えて、今後の調達と在庫の活用により、今週末には、このたびの未調達問題発生前に予定していた安定ヨウ素剤の配備水準を確保できる見込みとなりました。

このことについて、別紙により市町村長にお伝えしました。

本件についてのお問い合わせ先  
医務薬事課 課長 水沢泰正  
(直通)025-280-5782 (内線)2540

市 町 村 長 様

新潟県危機管理監

安定ヨウ素剤の確保について

このたび、安定ヨウ素剤の未調達によりご迷惑をおかけしていることにつきまして、深くおわび申し上げます。

去る 4 月 25 日、遅延しておりました更新作業を行い、即時避難区域 (PAZ) 内の全住民の皆様に必要な安定ヨウ素剤を確保しました。

また本日、下記のとおり新たな調達を行い、避難準備区域 (UPZ) 内の 40 歳未満の方々の必要量を超える安定ヨウ素剤の配備が整いました。

これらに加え、今後の調達等により、今週末には、このたびの未調達問題発生前に予定していた当面必要な安定ヨウ素剤の配備水準を確保できる見込みとなりました。これらの安定ヨウ素剤は、長岡、上越、十日町の各保健所に搬入する予定です。

引き続き、県民の皆様のお安全の確保に向けて、全力で対応してまいります。

記

区 域	人 数 (人)	必 要 量 (錠)	現 状 + 新 規 調 達 (錠)
即時避難 区域(PAZ)	a 21,700	c 122,000	168,000 (4/25調達分等)
避難準備 区域(UPZ)	b 444,800	d 831,000	372,000 (4/28調達分) 328,000 (5/2調達予定)
	うち 40歳未満	165,000	273,000 140,000 (在庫分)
合 計	a + b 466,500	c + d 953,000	1,008,000

平成26年5月5日  
6時00分  
防災局原子力安全対策課

**本日5時18分頃に発生した地震により  
柏崎刈羽原子力発電所に異常は確認されていません**

本日5時18分頃に発生した地震により、柏崎市で震度2、刈羽村で震度3、の震度が観測されましたが、柏崎刈羽原子力発電所において、現在、異常は確認されていません。

柏崎刈羽原子力発電所は、現在、全号機とも定期点検により停止中です。

県が実施している放射線モニタリング観測でも、異常な値は検出されていません。

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全対策課長 須貝

(直通) 025-282-1690 (内線) 6450

# 福島事故検証課題別ディスカッション 東京電力の事故対応マネジメント（第3回）

日時 平成26年4月26日(土) 13:00～16:30

場所 県庁 行政庁舎201会議室

- 1 開会挨拶
- 2 事務局説明及びディスカッションの進め方等
- 3 ディスカッション

テーマ 事故対応及び情報発信における問題点と対策

＜議論のポイント＞

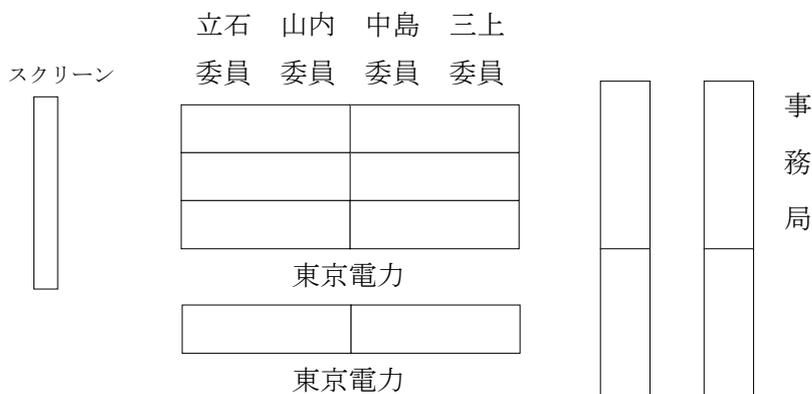
- ・東京電力から外部への連絡はどのような状況だったのか
  - ・情報発信に問題があったのではないかなど

- 4 閉会挨拶

### 出席者

区分	職名	氏名	
委員	コア メンバー	新潟大学名誉教授	立石 雅昭
		多摩大学情報社会学研究所教授	山内 康英
		京都大学原子炉実験所原子力基礎工学研究部門教授	中島 健
		長岡技術科学大学副学長	三上 喜貴
東京電力		原子力運営管理部長	五十嵐信二
		原子力改革特別タスクフォース事務局長代理	松本 純一
		柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター所長	新井 史朗

### 座席表



# 福島事故検証課題別ディスカッション メルトダウン等の情報発信の在り方（第3回）

日時 平成26年4月26日(土) 13:00～16:30

場所 県庁 行政庁舎201会議室

- 1 開会挨拶
- 2 事務局説明及びディスカッションの進め方等
- 3 ディスカッション

テーマ 事故対応及び情報発信における問題点と対策

＜議論のポイント＞

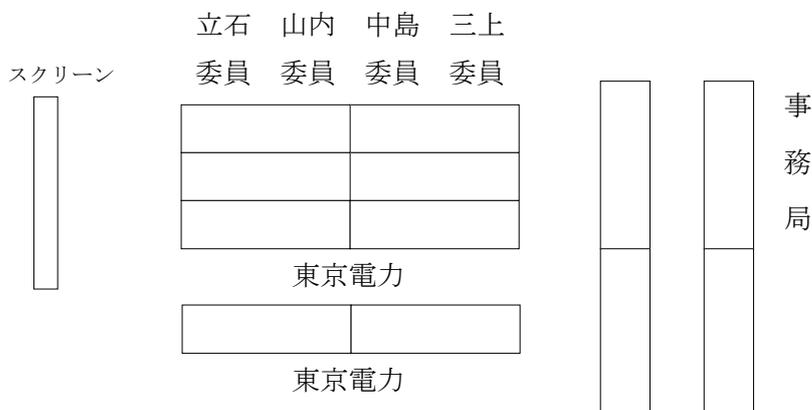
- ・東京電力から外部への連絡はどのような状況だったのか
  - ・情報発信に問題があったのではないかなど

- 4 閉会挨拶

## 出席者

区分	職名	氏名	
委員	コア メンバー	新潟大学名誉教授	立石 雅昭
		多摩大学情報社会学研究所教授	山内 康英
		京都大学原子炉実験所原子力基礎工学研究部門教授	中島 健
		長岡技術科学大学副学長	三上 喜貴
東京電力		原子力運営管理部長	五十嵐信二
		原子力改革特別タスクフォース事務局長代理	松本 純一
		柏崎刈羽原子力発電所原子力安全センター所長	新井 史朗

## 座席表



# 福島事故検証課題別ディスカッション 地震動による重要機器の影響（第3回）

日時 平成26年4月28日(月) 13:00～16:30

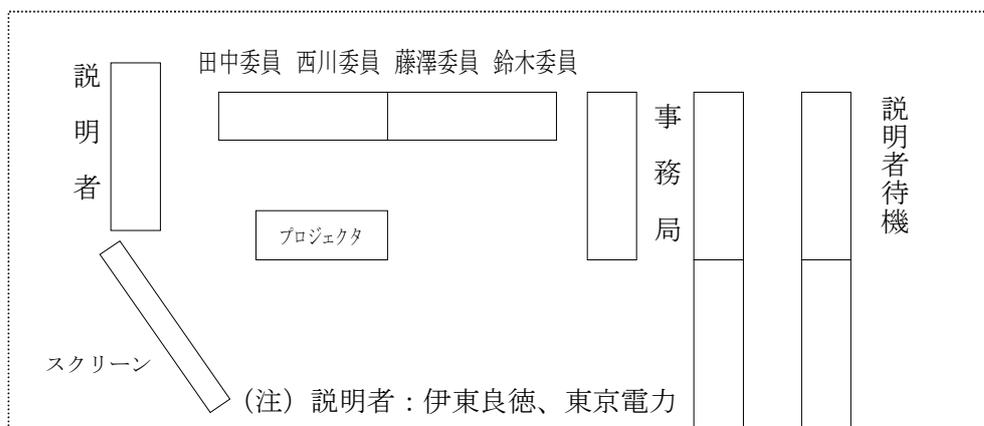
場所 県庁 行政庁舎203会議室

- 1 開会挨拶
- 2 事務局説明及びディスカッションの進め方等
- 3 ディスカッション  
    テーマ 福島第一原子力発電所への津波の到着時刻について
- 4 閉会挨拶

## 出席者

区分	職名		氏名
委員	コア メンバー	科学ジャーナリスト	田中 三彦
		首都大学東京名誉教授	西川 孝夫
		新潟大学工学部（教育組織）教授新潟大学可視化情報研究センター（教育組織）センター長 教授	藤澤 延行
	日本原子力研究開発機構安全研究センター燃料安全研究グループ非常勤嘱託		鈴木 元衛
東京 電力	原子力設備管理部長		川村 慎一
	原子力設備管理部 土木調査担当部長		高尾 誠
協力	元国会事故調協力調査員／弁護士		伊東 良徳

## 座席表



# 福島事故検証課題別ディスカッション 高線量下の作業（第3回）

日時 平成 26 年 5 月 8 日(木) 13:30～16:00

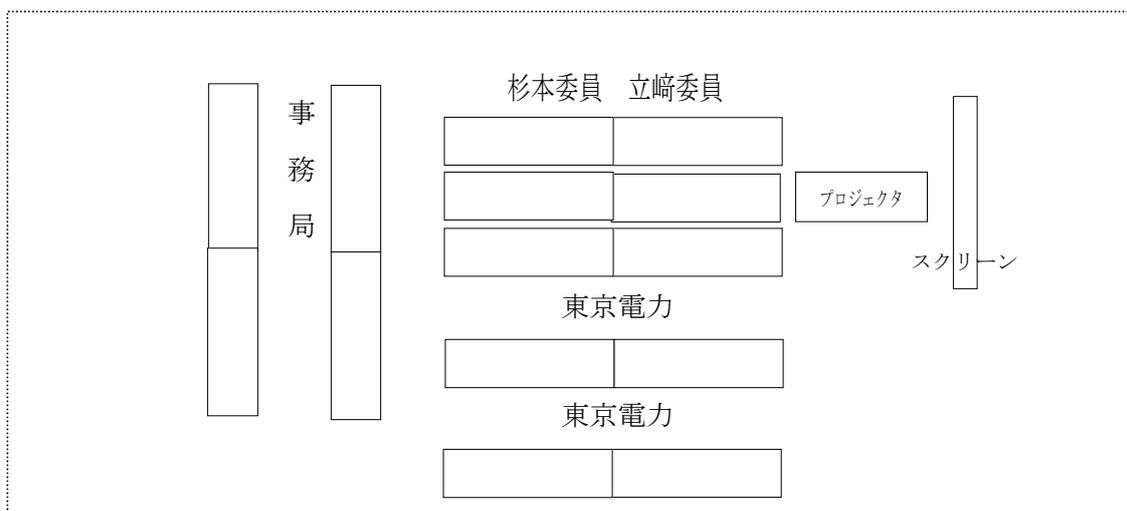
場所 新潟県庁 602 会議室

- 1 開会挨拶
- 2 事務局説明、ディスカッションの進め方等
- 3 テーマ 福島第一原子力発電所事故時の高線量下の作業
  - ・放射線量の上昇が発電所内の事故対応や発電所外の支援活動にどのような影響を与えたのか。
  - ・線量限度の違いにより事故対応・事故進展にどのような違いが生じるのか。
- 4 閉会挨拶

## 出席者

区分	職名	氏名
技術委員 メンバー	京都大学大学院工学研究科教授	杉本 純
	放射線医学総合研究所 REMAT 医療室室長	立崎 英夫
東京電力	原子力運営管理部長	五十嵐信二

## 座席表



# 安定ヨウ素剤未調達事案調査に関する中間報告の概要

平成26年5月8日  
出納局・総務管理部

## 1 概要

- (1) 年度内の調達が難しくなった担当職員が、必要書類を偽造等して事務手続が正常に進んでいることを装ったことが発端である。この際、上司の印鑑を調達し、公文書を作成したり、コピーの切り貼りで、製薬会社からの請求書も偽造したりしたため、上司や会計担当、関係課のチェックをすり抜けてしまった。加えて、公文書は、原則として請求書等については原本を添付することが必要である。しかし本件は、コピーの文書でよいとされているものであることから、公文書が偽装されたものであり、この点チェックするしくみの脆弱性が認められる。
- (2) 現物確認については、福祉保健部で実施すべきものだったと考えられる。これは、予算の執行課が事業内容に責任を持つことが原則であるためである。加えて、ヨウ素剤は、医師の説明の下、配布することが義務づけられており、専門知識が必要なため、本来、担当部局で管理すべきものである。
- (3) 一方で、ヨウ素剤の備蓄、配布の規則は制定過程にあったため、ヨウ素剤の備蓄は、暫定という形で進められた。このため、福祉保健部内部の現物確認体制構築が不備であった。物品管理は通常台帳で行われるものの、ヨウ素剤については、購入がないため台帳への記載が行われず、本来実施すべき上司の納品確認が行われなかった。この点、業務管理の不備が認められる。加えて、ヨウ素剤管理のマニュアルが未整備のため、本来働くべき部内関係セクション（配備がなされる県の地域機関等）のチェックが機能しなかった。
- (4) 出納事務に関しては、国からの入金があり、支出が行われていない以上、論理的には確認できたはずである。しかしながら、出納事務に関して、不用額がなぜ生じたかを確認する際に、慣例として係長等が介在すべきところ、金額が相対的に少額であることもあり、担当者間のチェックにとどまり、確認漏れが生じた。この際、予算の使い切り文化の反省から、不用額が生じることは望ましいという考え方もあり、なぜ、不用が生じたのかを確認する意識が弱まっていたことも背景として指摘できる。
- (5) また、国の確認検査については、実績報告書の提出前（即ち書類上も納品前である）の3月に行われており、ヨウ素剤の納品確認に至らなかったものと考えられる。県の監査についても、このような事例は初めてであり、国からの収入と県の支出の整合性について、問題把握に至らなかったものと考えられる。
- (6) 外部からの問合せについては、当初は、文書偽造を行った当該職員への問合せであり、組織としての把握に至らなかった。また、防災局への問合せも、現物管理責任は福祉保健部にあるため、防災局による担当課への照会から問題把握まで、時間を要した。
- (7) 以上に加えて、ヨウ素剤の未配備の報告が遅れた等危機管理事案としての問題点、個人の不正事務処理を組織としてチェックできなかったこと及び未配備を長期間チェックできなかったことについては、追加調査が必要である。さらには、今回は偽装という特異なケースであり、当該職員が行った本件交付金等に係る過去の事務についても追加調査が必要である。

## 2 事実関係

- (1) 平成24年度中に購入すべき原子力発電所30km圏内配備分の安定ヨウ素剤1,326,000錠について、事務処理を完遂せず放置し、全く購入していなかった。
- (2) 購入事実がないにもかかわらず、同剤の購入財源である平成24年度原子力発電施設等緊急時安全対策交付金（内閣府原子力災害対策担当室所管）において、購入済みであるとの虚偽の文書を作成し、決裁手続を経ずに提出するなどにより、同交付金7,170,345円の交付を受けた。  
なお、同交付金は24年度決算において不用額として処理されており、支出の実績はない。
- (3) 10km圏内（柏崎市役所等）配備分の安定ヨウ素剤168,000錠のうち、平成25年3月末及び平成26年3月末の時点で期限切れとなる、合計140,000錠の更新について、柏崎市からの再三の督促などにもかかわらず事務処理を怠り、更新が遅延した。
- (4) 医務薬事課では、これらの事務処理の履行確認や更新管理を怠り、結果として1年以上の長期にわたり安定ヨウ素剤未配備及び更新遅延の事態を招いた。

### 《不正な内容》

#### (1) 虚偽文書の作成

- 仕事上のミスや遅れが上司の目に届くことを恐れるあまり、虚偽の文書を作成し、決裁を経ずに国交付金関係資料を提出
- 課長、課長補佐、係長の印鑑を購入して自分で押印したほか、過去の書類の印影を切り貼りするなどして作成

#### (2) 虚偽の報告

- 安定ヨウ素剤の購入及び保管に関し、上司や他所属からの問合せに対し「既に発注済み」「購入済み」「巻保健所に移した」など、問題発覚を恐れ、その場しのぎの嘘を繰り返した。

### 3 課題及び再発防止の方向性

今回の事案は、虚偽文書の作成など、職員個人の非違行為が大きな原因であるが、組織としてチェックできなかったことの検証と対応も検討しなければならない。

〔課題1〕 個人の不適正事務を組織としてチェックできなかったことへの対応

〔課題2〕 ヨウ素剤の長期未配備を組織としてチェックできなかったことへの対応

〔課題3〕 防災・危機管理事案としての対応

#### 【再発防止の方向性】

##### ①会計事務処理

- ・ 履行確認、現物確認の徹底
- ・ 支出負担行為決議書・支出命令決議書の取消処理のシステム上の検証

##### ②組織・事業マネジメント

- ・ 係長等の管理職に対する管理者の責務・組織マネジメントの再徹底
- ・ 責任体制の明確化の徹底
- ・ 文書事務のルールの徹底やメール送信ルールの厳格化
- ・ 話しやすい、相談しやすい職場環境づくり

##### ③予算執行管理

- ・ 予算執行管理の責任体制の明確化（マニュアル化）  
〔所属内：事業担当⇔予算担当、部局内：主管課予算担当⇔所属予算担当〕
- ・ 部局内でのチェック体制の強化

##### ④物品管理

- ・ 物品管理のルールの徹底
- ・ 備蓄品の管理方法についてのルール化

##### ⑤危機管理意識

- ・ 防災・危機管理意識の徹底・強化